第120号
令和３年
３月15日

阿南高専便り

アイデア対決・全国高等専門学校
ロボットコンテスト2020

CONTENTS

2…校長からのメッセージ

3…阿南高専は学び続けています！

4…卒業を祝う
- 機械コース
- 電気コース
- 情報コース
- 建設コース
- 化学コース

9…修了を祝う
- 専攻科

10…高専ロボコン2020　８年ぶりの全国大会出場！

11…第17回 全国高等専門学校デザインコンペティション（デザコン2020 in 名取）
第31回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト

12…キャリア支援室便り

14…図書館便り

16…各種大会報告・新任あいさつ

発行／阿南工業高等専門学校　徳島県阿南市見能林町青木265　TEL (0884) 23-7100

校長からのメッセージ

自己肯定と感謝を胸に、誰かの幸せのために働ける自分になりましょう

校長　平　山　け　い

本科・専攻科を卒業・修了していく学生の皆さん心からおめでとうございます。

高専を卒業・修了していくことは並大抵の事ではありません。本校を辞めて他の道へ進みたいと考えた事もあったと思います。様々な困難に出会うたび、葛藤を繰り返しながらも前向きに努力を続け、数多くの山を乗り越え、卒業・修了にたどり着いた皆さんです。自分自身のこれまでの努力に対し「良く頑張った！」と褒め言葉を送り、最大の自己肯定をしてください。本当に良く励み学びました。また、どんな時にも皆さんの背中を押し、支えてくださったご家族・先生方始め多くの方々への感謝を胸に更なる夢の実現に向かって旅立って頂きたいと願います。本校で学んだ知識や技術は、専門的とは言え、あくまでもこれから学び働くための基礎知識です。大きな変化と流れの速い社会の中では、更なる学びの継続と自分自身のこころを磨く意識が大切です。学んだ知識を知恵に変え、いつかは、誰かの幸せのために働ける大きな心を持った自分を目指してください。

皆さんの最終年度はとても大変な年でした。世界中の人々が新型コロナウイルスに翻弄され、数多くの大切な命が奪われました。皆さんも多くの行動が制限され、進路決定に対しても今まで以上のストレスや葛藤があった事と思います。出来ないことが多い中、工夫と我慢を重ね、皆さんは果敢にそして真摯にチャレンジを続けてくれました。本校を旅立つ時のこの大きな経験は、これから社会で学ぶ上で大事な財産になることは間違いありません。我慢の中で普段は気づかない他者に対する気遣いも学んだことと思います。５年または７年間一緒に過ごした級友との絆も深まっていることでしょう。高専で一緒に学んだ者同士の友情が何ものにも代えがたいかけがえのないものであることがわかる時が必ずやってきます。これからもこの絆を大切に、喜びの時や困難な時を互いに分かち合い前向きに進んで欲しいと願っています。

さて、本校で学びを継続していく皆さんに対しても同様の事が言えます。今年度のコロナ禍の状況の中で皆さんは本当に真摯に学びを止めず進んでくれました。オンライン授業、実験実習ウイーク等の他、対面授業が始まってからも学内外のイベントや大会などが思い通りに行えない中、出来ないことを嘆くのではなく、出来る事を淡々とこなしてくれました。本校の非常に厳しい感染症対策に対しても、学生会や寮生会が先頭に立って動き、しっかりとした対策を取ってくれたお陰で学びを止めず前へ進むことが出来ています。皆さんの正しい行動で学生や教職員に加え、そのご家族の方々の命を守る事も出来ています。感謝しか有りません。新年度は、コロナ禍にあっても高専生活をより充実できるよう皆さんと共に知恵を絞り協力しながらワクワクしながら一緒に前進して行きましょう。

阿南高専生は学び続けています！

機械工作実習

1. 授業について

コロナ禍の中、4月下旬からは遠隔授業を開始しました。高専のものづくりに直結する実験実習登校を実施し、８月末から対面授業を開始しています。コロナ禍が広がっても、遠隔授業を用いて「学び」を継続できます。

【学生の健康、学びを守るための対策】

- 教室などはロスナイ換気（室温を保ちながら空気を外気と入れ替え）、ドア・窓を少し開けて換気
- 寮・寮食堂、校舎・教室の入口に消毒液を配置し、こまめに手指消毒
- 在校時および登下校時はマスクを着用、ソーシャルディスタンスを確保
- 毎朝検温（寮生は朝夕）し、行動記録を取るなど健康管理
- 学生寮では食事と入浴を時間制にして、食事を取る場所や入浴時の脱衣ロッカーを学生ごとに指定
- 複数人部屋では就寝までマスク着用とし、就寝中の飛沫拡散防止用にパーティションカーテンを設置
- クラブ活動時は、各競技の特性や協会のガイドラインに基づいた感染予防計画を作成し徹底

2. クラブ活動やコンテストなどについて

学生の安心安全を最優先に、9月14日からクラブ活動を再開しています。

- テニス部男子：県高校新人大会２位
- 水泳部男子：100m背泳ぎインカレ出場権獲得
- 陸上競技部：県高校新人競技大会、男子走高跳と女子800mほかで優勝
  ／県陸上選手権大会男子棒高跳び優勝
- 高専ロボコン四国地区大会、チーム「Awa Dancers」デザイン賞、チーム「Nittac」特別賞
- 全国高専プログラミングコンテスト課題部門、プログラミング同好会敢闘賞

ロボコン「Awa Dancers」

3. 学生寮について

学生寮では350名を超える学生が生活し、学んでいます。上級生が1・2年生の学習を支援する勉強会や、外部講師を招いての茶道講座と華道講座、特別講演といった寮の行事を、少しずつ再開しています。

茶道講座

4. 就職と大学編入学について

就職状況は好調で、昨年度までと同様に20倍超の求人倍率でした。大学３年次への編入学試験は、コロナ禍の影響により日程が大きく後ろにずれました。試験をリモートで実施する企業・大学が増え、キャリア支援室や卒業研究指導教員がWeb試験やWeb面接などの指導を行っています。来年度以降、就職状況は変わらず堅調と判断しています。例年12月に本校で実施している企業研究セミナーはリモートで実施しました。昨年並みの260社の企業から参加申し込みをいただきました。

企業研究セミナー

5. 専攻科について

専攻科２年生は、特別研究を進めていくとともに、学位の取得に取り組みました。また，校内でACT企業をお招きした研究発表会を行いました。専攻科１年生は，10月、11月の期間を中心にACT企業をはじめ、大学などでのインターンシップに励んでいます。

卒業を祝う　機械コース

3年次 工場見学旅行

贈る言葉

つとめて、やむな

機械コース　５年担任　**西　野　精　一**

卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、指導に尽力された皆様、お疲れ様でした。卒業生はこれまでの支えを思いかえし、お蔭様で頑張れたという感謝の気持ちから社会へと旅立って欲しいと思います。阿南高専での5年間で、みなさんは機械工学の専門知識や技能だけでなく、寮生活、部活動を通じて多くの友人や恩師を得たことと思います。特に、本年度はコロナ禍の中でのオンラインでの就職活動、遠隔授業、オンラインでの研究発表など困難な1年となりました。

4月からは社会人や大学生として巣立つ皆さんに「つとめて、やむな」という言葉を贈ります。これは、磁性鋼を開発し、鉄の神様と呼ばれた本多光太郎博士の言葉であり、私の出身小学校の校訓です。努力し続けることの大切さを謳っています。コロナ禍の中、従来の常識が成り立たない新しい世界で活躍するエンジニアとなるためには、継続的に知識・技能を習得することと課題に立ち向かうチャレンジ精神が必要です。今後も、企業や大学院でさらに自己研鑽を積み、プロのエンジニアとして日本の発展に貢献してくれることを期待しています。

2年次 溶接実習

5年次 環境工学

５年生の言葉

■機械コース

１年担任　田上隆徳、中島　一、谷中俊裕、松尾俊寛
２年担任　川 崎 敏 和　　３年担任　松 浦 史 法
４年担任　伊 丹　　伸　　５年担任　西 野 精 一

■感謝の気持ち　　奥 田 真 也

このたび、無事に卒業することができました。水泳部の顧問をしていただいた松本先生にはたいへん感謝しております。県外の大会の際には宿舎を手配していただき、大会中には応援をしていただき、おかげさまでベスト更新を果たすことができました。私が卒業しても二人の後輩が残っています。その二人もきっとベスト更新を遂げてくれると思います。卒業後、大会でお会いするかもしれません。その時はよろしくお願いします。

■蒼の光　　佐 野 翔 影

私の青春は確かにあの部屋に居た。高志会館２階で重たい扉が開かれるのを待っているオーディオルームだ。毎日のように仲間と集い、高め合い、くだらないことで笑い合い、時には対立して涙を飲んだ。道を振り返ると自分はここで大人になったのだと強く感じられる。「ずっと続けばいいのに」。そう思っていた。いつか私のように瞳を輝かせてあの部屋に来る子たちのために自分は席を空けよう、と今は言える。ありがとう、軽音楽部。

■高専５年間にさらば　　土 岐 大 雅

高専生活５年間は非常に濃いものだったと感じる。バスケットボール部に所属していたが、その中で先輩、同学年、後輩に支えられ素晴らしい５年間を過ごすことができた。部活動以外の部分でも勉強を教えてもらうなど、支えてもらってきた。こうした支えがなければ、楽しく高専生活を過ごすどころか、卒業すらできなかったかもしれない。そんな素晴らしい高専に一言、さらば。

■高専生活　　中 川 太 智

初めての寮生活、実習、非常に長い長期休暇、どれも新鮮ですべての行事が楽しかった高専生活であった。これらは、高専に入学しなければ体験できなかったことだと強く実感している。とくに印象に残っているのが寮生活だ。寮生活を共にしてきた友人との関係は一般的な仲の良い関係だけでなく、生活を共にしていく中で新たな友情ができる。このような特別な体験ができるのも高専ならではだと思う。成長するにはよい環境だった。

■学びの楽しさ　　中 島 正 貴

高専生活において学びに力を入れた。幼い頃から勉強が大嫌いだった私は、高専入学当初、勉強に対するやる気は皆無。当然、その後も嫌いなままと思っていた。しかし、今、振り返るとどうだろう。勉強ばかりしていた。これはもちろん、自分の好きな専門的な科目が多かったからでもあるだろうが、面白みのある授業に知らぬ間に引きつけられていたのではないだろうか。高専は学びの楽しさを私に教えてくれたようだ。

■将来に活かして　　布 川 玲 斗

在学中、部活動を頑張りました。バレーボール部に所属し、キャプテンを務めました。日々の練習をより良いものにするためにはどうすればよいかと考えるよう心がけました。小学校５年生から続けてきたバレーボール最後の大会は、コロナウイルスの影響でできなくなってしまい、悲しい気持ちでいっぱいです。ですが、私をここまで成長させてくれたバレーボール、先生方、部員に感謝して、これからの生活に活かしていきたいと思います。

3年 関西地区研修旅行

贈る言葉

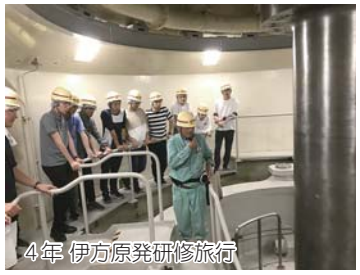
不撓不屈の精神で

電気コース　５年担任　**中　村　雄　一**

ご卒業おめでとうございます。本科最終の１年であった今年度は新型コロナウイルスの影響で４月は休校となり、５月からも慣れない遠隔授業と格闘する日々でした。そのような状況下でも着実に就職・進学活動に取り組み、卒業後の進路を定めてくれました。さらに、卒業まで漕ぎつけたみなさんの今年度の努力に対して敬意を表します。

４月から新しい環境で、新たな活動が始まります。知識の積み増しや新たな人間関係の構築も必要です。これらのことでも大変ですが、現状から４月以降も新型コロナの影響を多大に受けると思われます。いままでの常識が通用しなくなり、社会の変革が起きる気配があります。これをピンチとするか、チャンスとするかはみなさん次第です。いままで描いていた将来像とは異なってくるかも知れません。でも、どんなに困難な状況においても、決して挫けず強い意志を持って取り組んでください。そう、不撓不屈の精神で難局を乗り越えてください。今後の皆さんのご活躍を期待しています。

eスポーツ大会


4年 伊方原発研修旅行

5年 球技大会

５年生の言葉

■電気コース

１年担任　田上隆徳、中島　一、谷中俊裕、松尾俊寛
２年担任　田 上 隆 徳　　３年担任　小 林 美 緒
４年担任　小 松　　実　　５年担任　中 村 雄 一

■次のステップへ　　井 上　仁

阿南高専を卒業することになりました。この阿南高専で、５年間、実験や実習を通して電気系統の学問を学び続けました。時には他分野を学ぼうと、プログラミングコンテストやロボットコンテストの手伝いに加わり、間近で経験し、学びました。これらの他分野に関する知識と学ぼうとする意欲を大切にし、進学先ではより多くの学問を学び、修めたいと思います。今までありがとうございました。

■残したもの　　川 人 友 稀

後輩たちに何を残せただろう。部活動では優しく強い先輩に頼りっぱなしで２年を過ごした。私がキャプテンになった代では大会で目立った成績を残せず、県のリーグも降格した。練習の雰囲気がよくなくてもその状況を放置した。そんな状態で次の代に引き継いでしまったことを申し訳なく思う。難しいと思うが、後輩たちにはまた強い部活に戻してくれることを願う。

■飛び立ち　　佐 藤 来 夏

大きな希望と小さな不安を抱えて校門をくぐったあの日から、はや５年が経つというのか。あの頃は先輩の背中を見て高専での楽しみ方や生き方を学んだ。今、コロナでイレギュラーなスタートを切った１年生に、私は立派な背中を見せられているだろうか。この５年間、私は様々な挑戦をして大変な時期もあったけれど、そのおかげでこの学校で一番多く先輩後輩、先生方と関わることができたと思う。私は感謝と共にあの校門からはばたいていく。

■私の高専生活　　田 中 悠 暉

高専生活を今ふり返るとすごく早く感じますが、思い出は数えきれないほどあります。学校生活、寮生活、部活動において同期のみんな、先輩後輩、先生方のおかげで充実した毎日を送ることができました。入学時に比べて成長できたと思います。もうすぐ高専を離れ社会に出ますが、高専で学んだことを活かして頑張っていきたいと思っています。後輩の皆さんは人生一度しかない高専生活を楽しんでください。

■さらば青春　　寺 田 京 生

阿南高専ではたくさんのことを体験してきた。蒼阿祭で店を出したり、クラスで協力して球技大会に参加したりと楽しかった思い出が多く存在している。中でも一番濃く残っているのは寮生活だ。今まで体験してこなかった友人たちとの共同生活、友人と必死にテスト勉強したこと、会話で盛り上がったことなど、今ではなにげない日常と化しているが、今年でこの生活が終わると思うと感慨深いものがある。楽しい青春であった。

■クラブ活動の思い出　　秦 野 寛 太

５年間ソフトテニス部で日々練習に励み、努力してまいりました。雨の日や風の日には、普段とは打球感が違いなかなかうまくいきませんでした。それでも支えてくれた仲間がいたからこそ最後まで続けることができたのだと思います。練習だけではなくプライベートでも遊びに行ったりし、とても充実した５年間でした。後輩の皆さんもこれからの部活動生活を楽しみ、試合で勝つための練習を頑張ってください。

情報コース

5年 クラス写真

贈る言葉

培った技術力を活用して

情報コース　５年担任　　岡　本　浩　行

ご卒業おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために様々な制約があり、学校での生活が大きな影響を受けた一年となりました。これまでは当たり前であった学校に登校して学ぶことが当たり前ではなくなり、これまでの考え方や行動を大きく変えることを迫られました。そのような中で、いろいろなところでICTを活用した新しい生活様式が定着しつつあります。皆さんが情報コースで学んだことが、目に見える形で新しい生活に活用され、人々の役に立っている様子を見ることでICTの可能性を身近に感じることができたと思います。

これから皆さんが進む新しい環境において、身近な課題に気づくことができるようになったとき、皆さんが情報コースで培った技術力を活用して、人々の役に立つ新しい考えを創出し、これからも続くICTの可能性の拡大に貢献してくれることを期待しています。

5年 球技大会

５年生の言葉

■情報コース

１年担任　田上隆徳、中島　一、谷中俊裕、松尾俊寛
２年担任　新井　修　　３年担任　平山　基
４年担任　平山　基　　５年担任　岡本浩行

■これからの私、これからの私達　　岸上公彌

５年。入学当初は長い道のりに見えた年月が、遂に私の元を過ぎ去ろうとしている。この間に様々なことが起こったが、中でも最後の１年は激動かつ静かなものとなってしまった。これからの社会人生活は、アフターコロナという言葉が示すとおり、これまでとは大きく様式が変わることだろう。我々は離れてしまった人々の距離を少しずつ縮めていけるよう慎重に努力を重ねなければならない。この先も人生はまだまだ続くのだから。

■学びある高専生活　　喜多亮太

高専生活が終わります。高専での５年間から学ぶものはたくさんありました。専門教科についての学習はもちろん、人として成長できたと思います。情報コースで、プロコン部で、プログラミングやものづくりを体験し、スキルを身につけました。そのおかげでＩＴ企業からの内定を頂けたと思います。長いようで短かった高専生活は、楽しく学べたそんな生活だったと思います。ありがとう、阿南高専。

■私の友人　　田村亮輔

阿南高専。卒業にあたり、様々な記憶がよみがえってきます。とくに私が一番思い浮かぶのは友人との記憶です。部活動での同学年の友人、そしてクラスを共にした友人には、分からないことを助けてもらったり、時にはバカなことをしたり、とても楽しい高専生活でした。私がこの高専生活で一番感謝するのは友人です。多くの友人たちに「ありがとう」と伝えたいです。

■さよなら、ありがとう　　中道　翼

阿南高専を卒業し、これから社会人として歩み始める。高専で過ごした５年間を振り返ってみる。友人、クラスメイト、先輩方、先生方、そして両親。本当にたくさんの人に支えられ生きてきた。部活や勉学がうまくいかないときには、隣で友人が教えてくれ、共に進んだ。研究室では先輩と先生に何度も助けられた。いつだって両親が私を支えてくれた。私は、全ての人に、さよならとありがとうを贈る。

■感謝　　正本佳那

希望をもって入学した日から５年がたち、私は阿南高専を卒業し、生まれてから20年過ごした地元から離れることになりました。卒業と旅立ちを意識して過ごしたここ数か月は悲しくもあり、楽しみもありましたが、一番大きかったのは感謝の気持ちでした。毎日お弁当を作り、送迎をしてくれた両親に対して、そして気の合う仲間に出会えたこと、私の将来について考えてくれた全ての方達に対する感謝の気持ちです。今後は、感謝し感謝される人となることを目指します。

■阿南高専だけの、新たな道　　増田大輝

３年生の春、全国高校ｅスポーツ選手権にて全国３位に輝きました。当初は記念に出られたらいいな程度の感覚でしたが、予選を勝ち抜く頃には本気になっていました。この結果の影響か、ｅスポーツ関連イベントに阿南高専として参加しないかというオファーや、テレビ・新聞の取材を受けるようになりました。これは、高専に入学した時は夢にも思っていなかったことです。阿南高専でなくてはこの道は開けませんでした。ありがとうございました。

卒業を祝う　建設コース

4年 体育大会

贈る言葉

諦めない心

建設コース　５年担任　**森　山　卓　郎**

ご卒業おめでとうございます。私は３年と５年の２回、皆さんの担任をさせていただきました。野球の投手で言うと中継ぎとクローザーをさせていただいたようなものです。クローザーと言えば、阪神タイガースのクローザーとして活躍した藤川球児さんは、引退のときにこんなことを言っていました。入団して初めのうちは失敗と故障を繰り返していても、自分には無理だと諦めることだけは絶対にしなかった。周りから厳しい言葉を投げかけられても、必ず見返してやると思っていたと。

誰でも最初から何でもうまくは出来ません。１回の失敗や挫折で諦めてしまえば、後でそれが急に出来るようには、ふつうなりません。諦めずに努力を続けていれば、たとえ小さな成功でも、それが蓄積して次への自信にもなっていくと思います。

今年は箱根駅伝の最終区間での大逆転もありました。諦めない心を常に持ち、何事にも全力で取り組んでいってください。今後のご活躍をお祈りします。

4年 現場見学

3年 体育大会

５年生の言葉

■建設コース

１年担任　田上隆徳、中島　一、谷中俊裕、松尾俊寛
２年担任　西森康人　　３年担任　森山卓郎
４年担任　堀井克章　　５年担任　森山卓郎

■さらば高専　　大藪一基

この春、阿南高専を巣立ち、社会人としての道を歩み始めます。目を閉じれば５年前の４月入学してから今日までの思い出がはっきりと浮かんできます。また、この学校ですばらしいクラスメイトや先生に出会うことができ、充実した５年間でした。指導してくださった先生方や苦楽を共有してきたクラスメイトには感謝してもしきれないほどです。そして、いつの日か再び笑いあえることを楽しみにしています。

■思い出　　小川　翔

何もかもが今日で最後。そう感じる日が増えている。今受けている授業や定期試験、寮での生活など、高専生活が終わりに近づいているのが日々感じられる。１・２年の時の何気ない日々に戻りたいと思うこともあるが、そんな願いがかなうことはない。高専生活が残りわずかとなり、やり残したことはないか考える。日々をかみしめて、ありったけの思い出を胸に、卒業したい。

■記憶　　奥村公香

私にとって阿南高専は学生最後の青春の場でした。もちろん勉強が苦しい時期もありましたが、それ以上に、友達や部活のメンバーと会い話をすることに幸せを感じていました。用がなくても会えていた友達が、これからは用がないと会えません。毎日一緒に登校してずっと一緒にいた友達とも、私を慕ってくれた後輩とも、もう別れなければいけません。すごく寂しく悲しいですが、強く生きていこうと思います。

■私を支えてくれた人へ　　國見美優

阿南高専に入学してから５年の月日が経ったということに驚きを隠せない。最初は、初めてのことにとまどうばかりで周りの人達がどれほど私を支えてくれていたかなんて気づきもしなかった。週末帰るたびに好物を作ってくれる家族、どんな時も一緒にいた友人、知識だけでなく社会について教えてくれた先生方。私がこの学校を卒業できるのは、これだけ支えてくれた人がいたからだ。卒業にあたり伝えたい。ありがとうございました。

■何もなかった１年間　　白石智也

入学してから卒業するまでの５年間、部活を続けた。高専生になってから始めたバレーボール。何回骨を折り、何回試合に負けただろうか。とても数えきれないほどである。この悔しさをバネに迎えた５年目の集大成の年。一度も大会に出ることはなく、一度も後輩と練習することはなかった。コロナウイルスの試練。この１年間を一生忘れることはないだろう。

■感謝　　三木康平

阿南高専に入学して早くも５年が経ちました。入学してすぐは友達もおらず寮生活だったため、とても不安だったことを今でも覚えています。しかし、学校行事やクラブ活動、寮内行事を通してたくさんの仲間ができ、笑って生活することができました。このような幸せな環境にいられるのは、両親や先生方、友達など多くの人に支えられていたからです。周りの人達への感謝の気持ちを忘れずこの先も頑張っていきたいと思います。

卒業を祝う　化学コース

5年 教室にて

贈る言葉

今を大切に

化学コース　５年担任　大　谷　　卓

ご卒業おめでとうございます。初めての担任として、４年と５年を一緒に過ごした皆さんの卒業は感慨深いです。４年の２月からコロナ禍に見舞われ、就職活動では移動が制限されオンライン面接が主流になり、編入学では入試の日さえなかなか決まらない大学もありました。本校でもコロナ対策やオンデマンド講義が実施され、とまどいやストレスを感じることも多かったと思います。それらを乗り越えて卒業の日を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。

皆さんより30年近く長く生きて感じることは、時間が経つのは早いということです。後で気付きますが若い頃の時間は特に貴重ですので、無駄にせず多くのことに挑戦して下さい。また、現在の自分とは一日一日を積み重ねた結果です。毎日あと少しだけ余計に考え、余計に努力をし、余計に人生を楽しんでください。このほんのわずかの積み重ねが、数年後には大きなものとなるはずです。今後の皆さんの活躍を楽しみにしています。

4年 徳島大学にて

3年 教室にて

2年 北の脇にて

５年生の言葉

■化学コース

１年担任　田上隆徳、中島　一、谷中俊裕、松尾俊寛
２年担任　今 田 浩 之　　３年担任　鄭　　涛
４年担任　大 谷　　卓　　５年担任　大 谷　　卓

■熱　　岡内駿之介

５年前、何に対しても興味を持てない中学生だった。決してエンジニアになりたいわけではなかった。休みが長いから高専を選んだ。そんな私でも好きなことを見つけることができた。忙しい研究活動や学生会活動の中でそれに出会えた。高専での活動は辛いこともあったが、熱中して取り組めた。傍観者だった私に、燃えるような日々を与えてくれたことに感謝したい。

■寮生活　　近 藤　　渉

一番の思い出は寮生活です。入学当初は寮生活をすることに不安でいっぱいでしたが、すばらしい友人と出会えたおかげでその不安がなくなり、楽しい寮生活を送ることができました。また、役員を務めたことにより、他学年の方と関わる機会があったり、寮を良くする制度を考えたりと有意義な時間を過ごすことができました。卒業後もこれらの経験を活かして頑張ります。ありがとうございました。

■阿南市見能林町青木265　　西 岡　　巧

さらば、阿南高専。この５年間はあっという間に過ぎていきました。単位に追われていた日々、部活に熱中した日々、友達とたくさん笑いあった日々。最初のほうは、正直、校舎に入ることさえ嫌でした。しかし、この高専生活で笑いあい、泣きあったあの時間が、私にとってなくてはならない宝石のようなものだったと、卒業が近づくにつれ実感しています。今では、この校舎から出たくありません。ありがとう、阿南高専。

■感謝　　藤 井 佑 衣

「あなたの高専生活とは」そう聞かれたとき、私は迷わず「夢を見ることができた最高の時間」と言うだろう。私はこの５年間、部活動に夢中だった。初めての金メダル、初めてのトロフィーを手にしたときの感動は、今後忘れることはないだろう。泣き崩れることもあったが、周りを見ればいつも笑顔で支えてくれる部員たち。これ以上のない最高の場で５年間も部活に全力で取り組めたことを、幸せに思う。ありがとう。

■学生生活で得たもの　　森吉瑛里子

５年間で多くのことがあった。新しい友人との出会い、インターンシップ、何より私にとって大きな出来事は高専大会での２冠達成だろう。10年以上テニスを続けてきた。日々の練習はきつくしんどかったが、いつも両親やコーチ、周りの人が支えてくれた。高専では先生も応援してくださった。気づけば多くの人に支えられ、テニスを続けることができた。結果以上に大切なものを多く得たことに気づかされた学生生活だった。

■瞳に微熱あり　　横 尾 秀 志

思えば５年前もこうして校舎を見上げていた気がする。期待と不安のないまぜになった目をしたあの頃から、多くのことを学んできた。志を共に笑いあった友人達の温かさ、時に厳しく時に優しかった師の教え、そして自身の大きな成長。そのどれもがこの校舎から始まったのだと、少し高くなった視界から見渡す。これから未踏の場所へ向かう不安感を想い出でぬりつぶす。いつか、再び見るこの校舎を私はどんな目で眺めるのだろうか。

贈る言葉

１期生の誇りを胸に

専攻科長　吉　村　　洋

専攻科のご修了、おめでとうございます。みなさんは、創造技術システム工学専攻の１期生として、本科での５年間および専攻科の２年間の７年間、阿南高専で様々なことを学び、とても成長されました。特に専攻科では、専門的な知識を習得することに加え、創造工学演習などで課題解決に向けた考え方やその方法論、他者とのコミュニケーション能力の向上に励みました。また、新型コロナウィルス感染症の影響でいろいろと変更がありましたが、しっかりと対応もでき、エンジニアとしての素養を十分身に付けてこられました。これらは就職先・進学先で十分通用するものであり、創造技術システム工学専攻修了の１期生の誇りを持ち、頑張ってください。みなさんのご活躍の状況、機会があれば、ぜひ、聞かせてください。

新たな技術者としての活躍を期待

２AE担任　長谷川　竜　生

専攻科のご修了、おめでとうございます。皆さんは、自らの専門技術に加えて、他分野の専門技術・知識も身に付けることを目指した本科創造技術工学科、専攻科創造技術システム工学専攻の７年教育で学んだ１期生です。異なる専門分野の人とチームを組んで課題に取り組まなければいけない社会において、十分な活躍ができる実力を身に付けています。また、新型コロナウィルスのため２年生前半は自宅学習となりましたが、その困難を乗り越えたことにより、自主的に学ぶ能力などをさらに向上させることができていると思います。皆さんはいろいろな可能性に満ち溢れています。自信を持っていろいろなことに取り組んで下さい。大いに活躍されることを期待しています。

成長するための３要素

２AM・２AC・２AZ担任　長　田　健　吾

専攻科修了、おめでとうございます。企業・大学院では、自ら学び、物事を前に進める力が求められ、その上で知的好奇心、粘り強さ、健康の３つが大切になります。まず知的好奇心を持って様々な知見・知識を吸収しましょう。物事の解決力が格段にアップします。ただ、頑張っても簡単に解決できない問題は世の中に多くあります。長時間、困難に向き合える粘り強さが必要となります。そして最後に、好奇心や粘り強さを維持するための健康な身体は必要不可欠です。体調管理には十分に気を付けて、社会に貢献できる技術者となれるように頑張ってください。

２年生の言葉

■「成長」

２AE　新見優里

当初、私は専攻科へ進むことを考えていませんでした。しかし、慣れた環境で将来の目標を明確にしたいという想いが芽生え、進学を決意しました。台湾への長期海外研修、研究活動、本科よりも幅広い専門科目の学習などを通じて、自分自身の成長に繋げることができたと考えています。特に2020年はコロナ禍で当たり前のことができなくなった悔しさや戸惑いもありました。そのような状況下でしたが、グローバルに活躍したいという夢に近づくためにも英語学習に力を入れたり、自己分析で性格を見つめ直したりと、多くの機会を設けることができました。阿南高専で過ごした7年間で、私に関わってくださったすべての方々にお礼を申し上げます。

■成長

２AM　福田成吾

私は本科、専攻科と計７年間阿南高専で勉学に励んできました。機械コースに配属となり、専門分野の授業が始まり壁にぶつかることが多くなりました。そんな時、共に議論し解決してくれた友人がいたからこそ私はここまで来られたと強く思っています。

また、インターンシップや台湾留学といった学外での経験が私自身を大きく成長させてくれたと感じています。特に、台湾留学では外の世界に触れることができ物事に対しての視野を広げることができたと感じています。これからは、阿南高専で培った力を発揮し精進していきたいと思っています。お世話になった全ての方々に感謝いたします。７年間ありがとうございました。

■私の想い

２AC　遠山　秀

阿南高専で７年間の生活を送ってきました。低学年では、部活のことしか頭になく、勉強は二の次でした。しかし、勉強で赤点や追試を受けてしまうと部活の時間が削られると思い、空き時間に勉強をするように心掛けました。「文武両道」は大事だと思います。今は感染症で文武両道の実行は難しいと思いますが、できる限り何事にも手を抜かず真剣に取り組んでください。「真剣な」努力は報われます。高学年や専攻科では、研修旅行、水防演習や長期インターンシップなどを通して学内だけでは体験できないことを経験しました。ここまで様々な体験をさせてくれた阿南高専や支えてくれた方々にはとても感謝しています。

■多くの経験を得た７年

２AZ　木村友哉

本科、専攻科での７年間はあっという間でした。化学コース１期生として過ごした高専生活は充実した日々だったと改めて感じます。特に高専生活の思い出として本科５年から３年間続けた研究活動が印象深いです。多くの問題に直面し、失敗もしましたが、指導教員をはじめ、多くの先生方、同級生、後輩に支えられ壁を乗り越えることができ、大きく成長できたと実感しています。今後は社会人としてこれまでに支えてくださった方々に恩返しできるように、これまでに学んだ経験を活かし、さらに精進していきたいです。最後に、この７年間お世話になった皆様に感謝いたします。

創造工学演習におけるデザイン思考プロトタイピングの発表

専攻科２年生 研究発表会

高専ロボコン2020　8年ぶりの全国大会出場!

機械コース　川畑成之

本年度高専ロボコンのテーマは「はぴ☆ロボ自慢」。コロナ禍の中、ロボコン史上初のオンライン開催となり、自分たちの考えたロボットとパフォーマンスで皆をハッピーにしよう！というこれまでにない、自由課題の採点競技となりました。本校では夏ごろまで登校もままならず、課外活動も制約が多い中でしたが感染防止に努めつつ大会に向けた活動が行われました。

Aチーム　プロジェクト名「Nittac（ニッタク）」

特別賞（マブチモーター賞）受賞

Bチーム　プロジェクト名「れもん」

Cチーム　プロジェクト名「Awa Dancers（アワダンサーズ）」

デザイン賞受賞

Dチーム　プロジェクト名「シリウス」

四国地区大会：2020年10月25日

今年度の大会はオンライン開催となり、普段通いなれた校内でパフォーマンスできるメリットがある一方、中継ではカメラや音声の調整などを自分たちで行わなければならない難しさがありました。

Ａチームはオリンピック競技でもある卓球をテーマにしたロボットで、膨大な実験データから調整したプログラム通りに動作し、寸劇を交えた楽しい凄技卓球パフォーマンスを披露した結果、高度な技術の実現を評価され特別賞（マブチモーター）を受賞しました。Ｂチームは１、２年生だけで構成された低学年チームながら、高度な５本指ロボットにチャレンジしました。一つ一つの音をしっかりと鳴らしながらピアノを演奏する様子が皆の心を和ませてくれました。Ｃチームは４年次開講コース横断型授業の共同教育メンバーを軸に、阿波おどりの連に所属している学生による踊り子隊と吹奏楽部、軽音楽部の鳴り物隊のサポートを受け、熱気あふれる阿波おどりの再現に挑戦しました。３Ｄプリンタを活用して製作されたロボットたちの踊りと演出が評価されデザイン賞を受賞しました。Ｄチームはさながらライブハウスのような会場を設営し、ロボットと軽音楽部員とのスペシャルバンドにより軽快な演奏を聴かせてくれました。ドラム演奏ロボットは人が演奏したデータをそのまま演奏してくれる高度なシステムを搭載していました。

地区大会では残念ながら敗退しましたが、全地区大会終了後の11月９日、競技委員会推薦チームとしてＣチームが選出され、全国大会への出場権を得ることができました。

全国大会：2020年11月29日

全国大会出場決定からわずか20日後の大会でしたが、地区大会メンバーに加えて多くの有志学生がサポートに加わり、設計を一から見直すとともにロボットを６台から12台に増加させ、より迫力ある阿波おどりに挑みました。大会では完璧なパフォーマンスを披露し、ネット上のコメントなどでは地区大会と全くレベルの違うロボットと演技に対する称賛と評価をいただきました。最終順位は12位（28チーム中）となり、残念ながら入賞はなりませんでしたが、参加学生皆が満足して大会を終えました。本ロボットは各所で展示・実演を予定しております。機会がありましたら是非ご覧ください。

今後ともロボコンチームへのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第17回 全国高等専門学校デザインコンペティション（デザコン2020 in 名取）

建設コース　笹田修司

第17回 全国高等専門学校デザインコンペティション（デザコン2020 in 名取）が、12月５日㈯～６日㈰に仙台高専名取キャンパス主管で名取市文化会館にて開催されました。

今回も「構造デザイン部門」、「空間デザイン部門」、「創造デザイン部門」、「ＡＭデザイン部門」、「プレデザコン部門」の５部門で通常通り会場で実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で10月にオンライン開催に決定されました。但し「構造デザイン部門」だけは仕様確認や耐荷性能試験などを指導教員が行うとのことで、半数足らずの指導教員が参加しました。今回も紙製の橋梁模型の耐荷競技ですが、審査員審査はオンラインプレゼンテーション審査で行われました。当初、本校では２チームで２作品を作成しており、今回は１チーム参加になったため、校内予選で１作品に絞り、その後は２チームのメンバーが協力して『テトラーチ』（５Ｃ白石君・三木君・松本君・大藪君、３Ｃ国原さん・南さん）の作品を仕上げ参加しました。総合成績は、参加した34作品中９位でした。

来年度は呉高専主管で12月４日㈯～５日㈰に開催予定です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、ご協力いただいた本校教職員ならびに後援会の皆様にお礼申し上げます。

作品『テトラーチ』の展示

オンラインプレゼンテーション審査

第31回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト

プログラミング同好会顧問　吉田　晋

第31回全国高専プロコンは、苫小牧高専主管で開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から現地開催を中止し、競技部門は無く、課題部門と自由部門のみのオンライン開催となりました。また、予選通過は例年の半分の各部門10案となり、予選通過も難しい大会でした。阿南高専は課題部門で「楽しく学び合える！」をテーマとした課題部門で、「PINT!ー時空を超えて楽しく学ぶ遠隔授業支援ツールー」と題して、新型コロナウイルスの影響で登校できず、孤独に遠隔でオンデマンド授業を受ける学生を支援する授業動画へのコメント共有システムを提案したチームが予選を通過しました。

３年生のチームに４年生が開発をサポートする体制で，予選通過から本選の審査用プレゼン動画、デモ動画の提出まで、２ヶ月という短い期間で、短い夏休みもオンライン合宿を行うなど、システムの開発とアピール動画の撮影に懸命に取り組みました。

本選のオンライン審査では、慣れないオンラインによる質疑にも対応して自分たちのシステムをアピールしましたが、短い時間でシステムの良さを伝えきれない部分もありました。入賞は逃しましたが、短い期間でシステムを完成させ本選でアピールできたことは、参加した学生にとって良い経験になったと思います。今後とも変わらぬ皆様からのご声援よろしくお願いします。

PINTチーム

オンライン審査

キャリア支援室便り

コロナ禍での就職活動と編入学試験に思うこと

キャリア支援室長　奥本良博

令和２年度は新型コロナウィルスの蔓延予防のためにあらゆる組織が対策を迫られました。その兆候は令和元年度の終わりごろからあり、本校でも昨年度の卒業研究発表会や卒業式は大勢の人々が密集することを避ける形で行われました。令和元年度の卒業生・修了生の皆さんはこのコロナ禍の緊急事態宣言下で新生活を送ることになってしまい、私たち教職員も心配しておりました。

さて、令和２年度の卒業生・修了生の皆さんは多くの不安を抱えながらの就職活動や、受験勉強に取り組まれ、ご苦労様でした。関係者の尽力により、何とかインターンシップおよび対面型の企業研究セミナーを実施することができ、学生の内定時期についても例年並みか少し遅い程度の小規模な影響に留まりました。ただ、オンラインによる面接が本格化して、企業も学生の皆さんも不慣れな状況からスタートし混乱したことでしょう。私たちは、学生の皆さんが修得したばかりのスキルを活用しながら頑張る姿に勇気と実行力を感じました。進学関係では大学の校舎閉鎖に伴う編入学試験のスケジュールの遅延が、良い結果になった人もいればそうでもなかった人もいたことでしょう。ただでさえ孤独になりがちな受験勉強を乗り越えた皆さんは、今後の学究生活でもくじけない精神力を得られたのではないでしょうか。

そして、令和３年度以降の卒業・修了予定の皆さんは、さらに不確定な状況下での就学と進路設定を余儀なくされております。令和２年度は前期が遠隔授業期間であったことから、夏休みが例年より短く、特に専攻科１年生の皆さんは海外留学も中止となりました。ほとんどのインターンシップがオンラインで実施され、戸惑うことが多かったと思います。秋以降の合同説明会においても本校主催のものを含めてオンラインで開催されることが多くなりました。オンラインにより参加の障壁が低くなったかわりに、企業の採用担当者に自分をアピールし印象付ける工夫が今まで以上に必要になりました。このように「新しい就活スタイル」への移行が急激に進んでいます。今までは実体験（インターンシップ等）から得ていたものを、オンライン上での疑似体験から如何に「リアル」なものとして掴み取るのかが重要になります。さらに、希望の職種・業種を複数用意するなど、自分の就職活動が滞りなく進められるように「かきわけていく」たくましさが要求されます。インターネット上で開催される就活セミナー、合同説明会の数は増加し、チャンスが増えているように感じられますが、行き当たりばったりではなく計画を立てて、本当に必要なものに参加しましょう。このように就職活動の準備は、今まで以上に「面倒くさく」なりますが、すぐに準備できることもあります。例えば、オンライン就活への対策としては、自分が落ち着いてオンライン面談ができる場所（静かさやネットの安定度）を確認しておきましょう。複数のweb会議システムのへの接続に慣れておきましょう。自分の声や姿がマイクやカメラを通してどのように伝わっているか、身近な人に手伝ってもらって確認しておくことも大事です。

まだ時間的に余裕のある下級生の皆さんは、その時間を怠惰に過ごすことなく、特に対面での体験はますます貴重になりますのでチャンスを取り逃がさないようにしてください。コロナ禍の最中を生きる私たちは世界が変わりつつあることに気付いているはずです。刻々と変化する社会状況にただ不安がるだけではなく、落ち着いて、バランスよく世の中をとらえることができたならどんなに良いことでしょう。そのためには過去の歴史に学び、且つ科学的に事象をとらえることが大事であり、心と体の健康を保つための運動も必要です。不安な気分に負けないために今できることに集中したいものです。

表．３年生から卒業・就業までの行事（キャリア関連）

<table>
<tr><th></th><th>３年生</th><th>４年生</th><th>就職活動</th><th>進学活動</th></tr>
<tr><td>2021年３月</td><td rowspan="2"></td><td>（コーオプ春季就業）</td><td>採用面接解禁</td><td></td></tr>
<tr><td>2021年４月</td><td rowspan="3">インターン先調整</td><td rowspan="6">就職試験</td><td>進学手続き説明会</td></tr>
<tr><td>2021年５月</td><td>コーオプ説明会</td><td>専攻科推薦入試</td></tr>
<tr><td>2021年６月</td><td>コーオプ面接</td><td>専攻科学力入試</td></tr>
<tr><td>2021年７月</td><td>コーオプ先決定</td><td>マナー講座</td><td rowspan="3">大学編入学試験
（12月頃まで）</td></tr>
<tr><td>2021年８月</td><td rowspan="2">コーオプ夏季就業</td><td rowspan="2">インターンシップ就業</td></tr>
<tr><td>2021年９月</td></tr>
<tr><td>2021年10月</td><td rowspan="4"></td><td>企業研究セミナー
（本校主催）</td><td>内定式</td><td>専攻科AO入試</td></tr>
<tr><td>2021年11月</td><td>企業合同説明会
（他機関主催）</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="2">大学編入学試験
（12月頃まで）</td></tr>
<tr><td>2021年12月</td><td>冬季インターン</td></tr>
<tr><td>2022年１月</td><td>企業合同説明会
（他機関主催）</td><td></td></tr>
<tr><td>2022年２月</td><td>マナー&メイク講座</td><td>（コーオプ春季就業）</td><td colspan="2">卒業論文・特別研究論文提出</td></tr>
<tr><td>2022年３月</td><td>コーオプ春季就業</td><td>採用面接解禁</td><td colspan="2">卒業・修了</td></tr>
</table>

特進セミナーとは？

キャリア支援室 進学担当副室長　園 田 昭 彦

卒業後の進路として専攻科や大学編入学を選択する学生が増えてきています。特進セミナーとは大学編入学試験に特化した対策講座です。特進セミナーでは可能な限り各学生の志望大学に焦点を当て、講義、過去問の分析、解説を行っています。また、大学編入学試験では筆記試験だけでなく、口頭試問もあり、論理的に説明できる能力が必要になります。口頭試問対策では学生自身が問題を解き、論理的に解説する練習をしています。

合格体験インタビュー（電気コース　鳥 井 優 杜 さん　大阪大学基礎工学部 合格）

（園田）まずは大阪大学基礎工学部へ進学、おめでとうございます。来年度入学予定の大学と学科・コースを教えてください。
（鳥井）ありがとうございます。私は大阪大学基礎工学部電子物理科学科物性物理科学コースに入学する予定です。
（園田）その学科コースではどういった分野を学ぶことが出来るのでしょうか？
（鳥井）超伝導、ナノサイエンス、半導体、レーザー、磁性などの基礎から応用まで幅広く物性物理を学ぶことができます。
（園田）鳥井君は何年生のときくらいに大学編入学に興味を持ち始めましたか？
（鳥井）３年生のころに興味を持ちました。もともと数学や物理が好きで、卒業後すぐに就職するのではなく、さらに数学や物理の理解を深めたいと思いました。
（園田）特進セミナーに参加し始めた経緯を教えてください。
（鳥井）学力での編入学試験に必要な勉強が授業だけでは足りないと聞いており、物理と数学のセミナーが開かれていたので、早く勉強するのに越したことはないと思って参加しました。
（園田）特進セミナーや僕と勉強を進めてて、特に役に立ったことや重要だったことを教えてください。
（鳥井）やはり知識が浅い状態から数学や物理を一人で始めるのは敷居が高く時間もかかるため、モチベーションの維持や質問などできる場として特進セミナーは非常に良かったです。
（園田）いつ頃から大学編入学試験を意識して、勉強を進めましたか？
（鳥井）基本的には学校の一般教養や専門を中心に勉強を進め、３年生の頃から少しずつ編入学試験を意識して１日平均１時間程度勉強していました。３年生から４年生にかけて徐々に勉強時間は伸び、夏ごろには強く試験を意識し、１日平均２時間程度を勉強に費やしました。１日８時間みたいに本格的な受験勉強を始めたのは４年生２月の中旬あたりです。
（園田）大学編入学試験対策でもっとこういうことをしっかり勉強していたほうが良かったことなどありますか？
（鳥井）英語全般です。もともと英語があまり好きではないのもありますが、ぎりぎりまでやっていませんでした。おかげで英語の試験は割と恐怖体験でした(笑)。やっぱり数学や物理に比べると、規則性のない暗記がかなり多く、急に身につくものでもないので、もっと早くから対策をやるべきでした。
（園田）最後に後輩たちに大学編入学試験に対してアドバイスをいただければと思います。
（鳥井）興味のある分野や研究室をじっくり調べて慎重に進学先を選んでください。それ相応の努力をすれば大体は報われます。コロナで時々刻々と状況が変わり続け、気が滅入りやすいとは思いますが頑張ってください。
（園田）本日はありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

各コース進路状況

令和２年度進学先

機械コース：阿南高専専攻科、岡山大学、九州大学、京都工芸繊維大学、千葉大学、豊橋技術科学大学
電気コース：阿南高専専攻科、大阪大学、徳島大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学
情報コース：阿南高専専攻科、岡山大学、京都工芸繊維大学、信州大学、徳島大学、電気通信大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学
建設コース：阿南高専専攻科、九州大学、徳島大学
化学コース：岡山大学、京都工芸繊維大学、徳島大学、千葉大学、豊橋技術科学大学
専　攻　科：岡山大学大学院

令和２年度就職先

機械コース：県内　大塚化学㈱、㈱大塚製薬工場、シオノギファーマ㈱、㈱テクシード、東亜合成㈱、日亜化学工業㈱
県外　大阪ガス㈱、花王㈱、㈱京都製作所、㈱クボタ、サントリー㈱、ＪＸＴＧエネルギー㈱、四国電力㈱、ダイキン工業㈱、㈱椿本チエイン、成田空港給油施設㈱、Ｐ＆Ｇ㈱、三菱ガス化学㈱

電気コース：県内　大塚化学㈱、㈱大塚製薬工場、大塚テクノ㈱,四国電力㈱（エリア）,四国日立㈱,東光㈱、東邦機械工業㈱
県外　㈱NTTファシリティーズ関西、花王㈱、関西電力㈱、サントリー㈱、ＪＸＴＧエネルギー㈱、四国電力㈱、神鋼テクノ㈱、セイコーエプソン㈱、㈱大真空、日本通信エンジニアリングサービス㈱JTES、パナソニック㈱アプライアンス社、本州四国連絡高速道路㈱、㈱明電舎、山崎製パン㈱

情報コース：県内　厚生労働省徳島労働局、大鵬薬品工業㈱、(有)データプロ、美波町役場、社会福祉法人悠林舎
県外　㈱E-Grant、㈱エクセディ、㈱NTTネオメイトNTT東日本グループ会社、サイバートラスト㈱、サイファーテック㈱、㈱ジャパンコミュニケーション、神鋼テクノ㈱、セイコーエプソン㈱、㈱ソフトサービス㈱、ダンクソフト㈱、中央エンジニアリング㈱、テクノモバイル㈱、日立ハイテクソリューションズ、富士通アプリケーションズ㈱、㈱メンバーズ

建設コース：県内　四国建設コンサルタント㈱、㈱姫野組住宅センター㈱、フジタ建設コンサルタント
県外　クリアウォーターOSAKA㈱、㈱鴻池組、国土交通省四国地方整備局（一般職技術系土木）、五洋建設㈱、㈱神鋼環境ソリューション、シンヨー㈱、住友金属鉱山㈱、東急建設㈱、東京水道㈱、東洋建設㈱、トヨタウッドユーホーム㈱、㈱浪花技研コンサルタント、地方共同法人日本下水道事業団、阪神高速技術㈱

化学コース：県内　大塚製薬㈱、㈱大塚製薬工場
県外　三洋化成工業㈱、第一工業製薬㈱、㈱ダイセル、大日精化工業㈱、日東電工㈱豊橋事業所、日東電工㈱亀山事業所、㈱日本触媒、日本たばこ産業㈱、三菱ガス化学㈱

専　攻　科：県内　大久保産業㈱、大塚テクノ㈱、日亜化学工業㈱、徳島県
県外　㈱大林組、オムロンフィールドエンジニアリング㈱、沢井製薬㈱、シオノギファーマ㈱、住友化学㈱、㈱神鋼環境ソリューション、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ㈱、㈱ソフトサービス、㈱大真空、パナソニック㈱グローバル調達社、㈱メンバーズ

図書館便り

図書館長あいさつ

《知の灯》としての図書館

図書館長　今田浩之（一般教養）

「来週から図書館を開けられます！」　5月15日㈮、リスク管理室による開館許可を知らせに行ったときのことです。図書館職員の方々は、閉館中作業の打合せや事務仕事をされていましたが、瞬時に状況を理解され、一斉に開館に向けた準備に取りかかってくれました。最初に解禁されたのは、図書の貸出受付サービスだけでした。既に用意しておいた支柱や透明ゴミ袋を使って、試行錯誤に微笑みながら、カウンター前の感染予防仕切りを作りました。皆さんをお迎えする閲覧室の入口には、手指消毒机を設置しました。

今年度の当初は、まるで閉架の書庫のように、閲覧室に照明のつかない日々が暗く続きました。その間も職員の方々は、図書ラベルの貼り替え他、閉館中作業を地道に続けてくれました。図書館という《知の灯》は、そうした職員の方々のご尽力で、今日も輝いています。皆さんのお一人でも多くが、一回でも多く来館されることを願っております。

教員推薦図書　各コースの先生方にお薦めの図書を紹介していただきました。

『ロシア語だけの青春 ミールに通った日々』

黒田龍之助 著

ロシア語習得に青春をかけた黒田龍之助さんの自伝的エッセイです。著者がロシア語に出会ったのは高校生の時。以来、彼が貫いた「ひたすら音読、ひたすら暗唱」という学習スタイルは、一昔前の外国語学習のように思えます。しかし、楽をせず、真摯にひたむきにロシア語習得に励む姿勢は、今も全ての外国語学習に通じるものです。まさに「学問に王道なし！」語学習得に限らず、一つのものに情熱を傾けることの尊さを実感できる１冊です。

（一般教養　藤井浩美）

『エンジニアになりたい君へ』

森實敏彦 著

この書籍は、エンジニアリング企業の社長が、自身の知見を基に、エンジニア業界の内情や就職先を選ぶときのポイント、また一流エンジニアになるためのキャリア形成術や心構えなどを理工系学生に向けて説いています。また、若手あるいは一流エンジニア達からの経験談に基づいた具体的なアドバイスも記述されています。まさに、「有為なエンジニア（技術者）」を目指している阿南高専生にとっては、一読に値します。

（機械コース　伊丹　伸）

『現場川柳 ものづくりは気合と悲哀だ！ ライバルは昔同期で今はロボ』現場川柳委員会編

ものづくりを学ぶ高専生であれば共感できる一句と出会えるかもしれない、そんな1冊です。川柳なので「５・７・５」で短くまとめられています。しかしその短い文章からものづくりに対する喜びや楽しさ、クスっと笑ってしまうような句もあれば、仕事の辛さや過酷さなどを表現した句まで様々あります。ものづくり現場の様子がおもしろくコンパクトにまとめられています。もしかすると卒業後、同じ状況に巡り合うかもしれません。

（電気コース　香西貴典）

『M5Stack&M5StickCではじめるIoT入門』

高馬宏典 著

今話題のIoTを初心者でも簡単に実現できる最適な1冊です。拡張性が高い小型マイコンモジュールM5StackとM5StickCを使用し、簡単なサンプルアプリケーションを作成するプログラミング入門書になっています。価格も安く数千円で手に入るM5シリーズで簡単に色んなIoTが実現できます。M5シリーズの概要、開発環境の構築から、センサーの取得、クラウドサービスとの連携まで、丁寧に解説されています。この本で身近な課題をIoTで解決してみましょう。

（情報コース　吉田　晋）

『エコハウスのウソ２』

前　真之 著

現在、建築の実務では、「今の断熱性能では２月14日の朝５時にこの部屋の床は何度になります」までシミュレーションして、設計の承認を得ています。こうした技術は一般建築よりも住宅分野で進み、特に東大の前先生が開発に携わられたプログラムは安価で全国的に広がっています。このプログラムは建設製図室のＰＣに入れており、建築環境工学や建築設備等の授業でも用いていますが、この前提となる知識を分かりやすく教えてくれるのが本書です。建設分野だけでなく、電気や機械と建築との関わりについても学ぶことができると思います。

（建設コース　多田　豊）

『中学の知識でオイラーの公式がわかる』

鈴木貫太郎 著

eのiπ乗が－1に等しい。この等式は工学を目指す者であれば一度は目にしたことがあると思います。本書はこの等式を導くためのオイラーの公式を理解することを目標としています。本書は様々な仕掛けがされており、誰でもわかりやすい内容となっています。最後に書かれているバーゼル問題についても必見です。本書を手にとっていただき、自然科学の中で生きる人類の生み出した数学の美しさを実感していただければと思います。

（化学コース　杉山雄樹）

学生図書委員会の活動

ブックハンティングに行ってきました!!

10月31日㈯に紀伊國屋書店（アミコビル内）にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんの本を選んでくれました。

～ブックハンティングに参加して～

1－2　川人　翔

紀伊國屋で僕は、AIやコロナの本を中心に選びました。専門的なことは先輩に任せてまだ在庫が少ないコロナ関係にしようと思ったからです。複数の政治や経済などの本に出会い、とても大切な時間を過ごせました。

2Ｉ　奈良拓海

以前は、自分の欲しい本を買うだけでしたが、学校の皆さんのことを考えながらでは、最初の意識から変わってしまい選ぶのがとても難しかったです。けれども、普段とは違うことをしているのが楽しく感じました。

4Ｉ　唐住祐哉

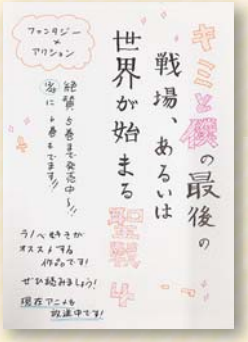
今回のブックハンティングで、意識していなかった専門技術や就職についての本がたくさん見付かりました。ネットだけではこのような発見はできなかったでしょう。また来年も参加したいです。

5Ｃ　松本礼央

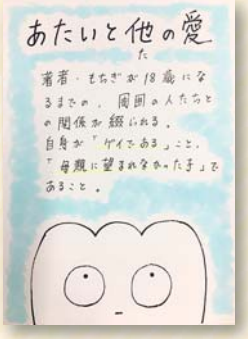
今回、ブックハンティングに参加させていただいたことで、阿南高専にどのような図書が必要なのかを考える良い機会となりました。また、今後より積極的に図書館を利用しようという気持ちになりました。

～学生図書委員オススメの一冊～

オススメしたい本のポップを描いてもらいました。
その中からいくつかを紹介します。



2E　中田希望実
文庫・新書コーナー
913.6‖Sa99‖１～４



3C　泉　遥香
閲覧室
367.97‖Mo12

4Z　湯浅智衣
文庫・新書コーナー
913.6‖H55

紹介した本は図書館に配架しています。

図書館からのお知らせ

※現在、一般の方はご利用いただけません。ご了承ください。

開館時間
- 平　日　　9時～19時（休業期間中は、９時～17時）
- 土曜日　　11時～17時（休業期間中は、休館）
- 日曜日・祝日　休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。
（貸出を希望される場合は、身分証明書（運転免許証など）をご持参ください。）

貸出冊数　５冊まで（休業期間中は、10冊まで）

貸出期間　15日間　（休業期間中は、延長）

★館内資料の文献複写（著作権法の範囲内での有料複写）や、DVD コーナーもご利用になれます。
★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL　0884-23-7106　　E-mail　tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。
URL　https://www.anan-nct.ac.jp/facility/library/

投書箱　図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。
読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。

各種大会報告

日付	団体・個人	部門	賞	クラス	氏名
徳島県高等学校総合体育大会代替大会　陸上競技					
2020.7.5	個人	男子　砲丸投	第３位	3C	坂野翔哉
		男子　走高跳	第１位	2M	大前雄三
徳島県高等学校総合体育大会代替大会　水泳競技					
2020.7.19	個人	男子　50m　自由形	第３位	2C	松本直大
第91回徳島県陸上選手権大会					
2020.7.23	個人	一般男子　棒高跳	第１位	4C	谷　知篤
徳島県高等学校新人陸上競技大会					
2020.9.20	個人	女子　1500m	第１位	2C	黒田　凜
2020.9.20	個人	男子　走高跳	第１位	2M	大前雄三
2020.9.21	個人	女子　800m	第１位	2C	黒田　凜
徳島県高等学校新人テニス大会					
2020.10.17	団体	男子団体	第２位	2M	吉川　光
				2M	多賀原奏真
				2E	鹿島悠矢
				2I	美馬歩嵩
				2I	日下遥斗
				1-1	尾田拓夢
				1-2	伊達猛人
				1-3	田中颯月
				1-4	浦　大輝
第31回全国高等専門学校プログラミングコンテスト					
2020.10.11	団体	課題部門	敢闘賞	3I	吉本磨生
				3I	土岡弓人
				3I	辰巳晃太郎
				3I	安藤優作
				3I	吉田湧翔

日付	団体・個人	部門・賞	クラス	氏名	クラス	氏名
高専ロボコン2020四国地区大会						
2020.10.25	団体	Aチームロボット名	3M	曽我井天信	2M	蔦谷季紀
		:Nittac	2M	竹内裕人	3M	神田　陸
		特別賞（マブチ	2I	高橋　圭	5I	楠原拓己
		モーター賞）	2E	生田　生	5E	榊　一顕
			2M	時本　信		
		Bチームロボット名	2I	今川康平	1-2	髙瀬暖生
		:れもん 奨励賞	1-2	中西　慧		
		Cチームロボット名	4M	大島泰星	4I	宮本圭一郎
		:Awa Dancers	4M	山下尚人	4I	高橋直樹
		デザイン賞	4I	島田豊藏	4E	篠原　輝
			4M	鎌村春輝		
		Dチームロボット名	3M	窪田和海	3M	高原由衣
		:シリウス	3M	山際優希	3M	棚橋　歩
		奨励賞	3I	高木浩志	3M	長谷野花
			3M	粟田なな	3M	水口　優
			3M	江口魁人	3M	山本泰生
			3M	岡谷蒼馬	3M	吉永圭吾
			3M	亀島知起	3I	齋藤　瞭
			3M	添木佑翔		

日付	団体・個人	部門	賞	クラス	氏名
第9回徳島陸上競技秋季カーニバル					
2020.10.31	個人	一般男子　走高跳	第２位	2M	大前雄三
優秀選手　バドミントン					
2020.11.7	個人		優秀選手	3E	森野純一郎
徳島県高等学校新人バドミントン大会					
2020.11.14	個人	男子シングルス	第３位	2C	井上怜嗣

新任あいさつ

創造技術工学科 一般教養　福井龍太　【担当授業】英語総合Ⅱ・英語B・英作文　【専門分野】言語学

この10月に赴任しました、福井龍太です。山形の雪深い所に生まれ育ちましたが、徳島では雪が降らないぶん、冬の寒さはより厳しいです。専門は言語学で、特に英語の動詞後位置における叙述要素について認知言語学や生成言語学の立場から考察しています。教育心理学や比較教育学にも関心があり、米国の学校における生徒指導やいじめ対策に関しての調査を行っています。高専では、理工学系学生に特異的な言語コミュニケーションの有無について仮説を立て、検証することを目論んでいます。自然言語分析にご興味のある方、一緒に論文を書きませんか！

国内外の様々な土地を訪れた経験からしても、阿南の地は豊かな自然と人的資源に恵まれていると感じます。本校から羽ばたく未来の科学者たちに、この素晴らしい環境を護り続けてもらうため、多様性を重んじ、良いものを取り入れて絶えず変化することの重要性をお伝えできればと思っています。

創造技術工学科 一般教養　浮田卓也　【担当授業】基礎数学2、数学C　【研究分野】位相幾何学

私は博士号取得後、東京工業大学で数学の研究を続けながら、日本工学院専門学校や電気通信大学で非常勤講師として数学の教育に携わってきました。私の専門は数学、特に位相幾何学（Topology）です。位相幾何学とは図形が伸縮自在なゴムで出来ていると考えて、ハサミやのりを使わずに柔軟に変形できる図形を「同じ」とみなして扱う幾何学です。例えば丸と三角は外見的に違いますが、位相幾何学においてはこれらは「同じ」ものとなります。このような位相幾何学の中でも私は特に４次元や３次元、２次元の空間に興味を持って研究しています。４次元という目に見えない世界の設計図を３次元に描き出す事によって４次元空間を詳しく調べています。数学の知識や考え方は科学技術を理解し使いこなすために必要になります。道具として数学を使いこなせるようになるのはもちろんの事、更に数学自体の面白さや奥深さも感じてもらえるような授業をしたいと考えています。

私は岡山県の県南の出身で、ちょうど阿南市と同じような落ち着いた雰囲気の町で育ちました。ですので、阿南での生活をとても気に入っています。これから一緒に阿南高専で様々な事を学んでいきましょう！

創造技術工学科 電気コース　朴　英樹　【担当授業】電気機器工学1、電気機器工学2　【研究分野】プラズマ物理

皆さんこんにちは。電気コース新任の朴英樹です。阿南高専では電気コースの実験のほかに、モーターや発電機について学ぶ電気機器工学、パワーエレクトロニクスなどの専門科目の授業を担当しています。私は大学では物理学、特にプラズマ物理を学んできました。プラズマとは原子がイオンと電子に分離した状態のことで、工学分野でも広く取り扱われています。特に私は電子のみで構成された純電子プラズマを使った実験を行ってきました。純電子プラズマは円筒容器内に静電磁場によって保持された電子で構成されるプラズマで、制御が通常のプラズマと比べて容易で、プラズマ現象の基礎研究やビーム物理への応用など多岐にわたる用途があります。特に電磁気学や流体力学の基本的な現象を観測することが可能であるという性質は高専教育においても学習した内容を直接可視できるといった利点を持ちます。

今年から新型コロナウイルス感染症の影響で授業の形態がどんどん今までと変わっていくことになると思いますが、この機会を活かして遠隔授業やオンデマンド授業など新しい授業方法を使って皆さんの学習を支援していきたいですのでよろしくお願いします。

今年度、コロナ禍における本校教育・学生への支援として、日亜化学工業株式会社様より4,664万円のご寄附、株式会社ＧＦ様より200万円のご寄附を賜り、悠久同窓会様よりオゾン空気清浄機８台をご寄贈いただきました。謹んで厚く御礼申し上げます。

阿南工業高等専門学校　学生課　　電話（0884）**23-7100**
〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265　E-mail：gakusei@anan-nct.ac.jp